

## 「環境モデル都市」の認定について “ 熊本県水俣市 ”

### ～ 環境と経済の調和した持続可能な小規模自治体モデル～

#### 1. 環境モデル都市選定の経緯について

水俣市では、経済成長の過程で発生した水俣病の教訓をもとに、環境にこだわったまちづくりを進めようと、平成4年（1992年）に日本で初めて環境モデル都市づくり宣言を行いました。

以後、環境基本条例を制定し、わが国でもいち早く、ごみの分別・減量を行うなど、環境保全活動に市民協働で取り組んできました。

このことは国内外の多くの自治体や民間団体等のモデルとなっており、国内 NPO による環境首都コンテストで、人口規模（2～5万人）別では2001年の初回から常にトップ（2004、2005年：総合グランプリ、2006年、2007年：総合第2位）の評価を受けてきました。

この度、内閣官房（地域活性化統合本部）が、世界の先例となる「低炭素社会」への転換を進め、国際社会を先導していくという趣旨で募集した環境モデル都市が、水俣市が進めている環境モデル都市づくりの目的と合致することから、これまでの取組みと併せて、他の自治体のモデルとなるような環境実践活動の取組みを提案しました。

平成20年（2008年）7月22日、水俣市は応募82件（89自治体）の中から「環境モデル都市」に選定されました。選定された自治体は全国で6自治体、本市は小規模市町村モデルとして認定されました。

#### 2. 温室効果ガスの削減目標について

今回提案書に盛り込んだ、これまでの環境における本市の実践活動と新たな取組みと併せて、温室効果ガス排出量の推移把握と今後の削減目標（2050年までに半減）を設定しました。

##### 温室効果ガス（CO<sub>2</sub>-トン換算）の削減目標

基準年：	2005年（平成17年）	238,647トン
中期目標：	2020年（平成32年）	マイナス 33%
長期目標：	2050年（平成62年）	マイナス 50%

### **3 . 水俣市が提案した削減への取組みについて**

本市は環境モデル都市づくり宣言以降、環境に配慮したまちづくりを実施してきました。他の自治体等が模範としやすいこれまでの住民協働による取組みをさらに強化すると共に、先進的な環境技術の開発・導入・実践を進めることで、本市の温室効果ガス削減目標を達成します。

また、昨今の地球温暖化は人類共通の公害問題であり、これからも温室効果ガス削減の取組みや、汚染物質による環境破壊を未然に防ぐため、公害の教訓を全世界に発信し続けることが、環境モデル都市である水俣市の使命であると考えています。

なお、設定した目標を達成するために、以下の取組みを4本柱として掲げ、実施していきます。

#### 取組みの4本柱

- A：環境配慮型の暮らしの実践
- B：環境にこだわった産業づくり
- C：自然と共生する環境保全型都市づくり
- D：環境学習都市づくり

### **4 . 今後の予定**

今後は、この認定を受けて、提案書に基づいたアクションプランを策定し、その実施に向けた必要な予算等の支援をいただきながら、環境と経済の調和した持続可能なまち、環境モデル都市水俣づくりを推進していく予定です。